

# 中学部2年 避難訓練 ～もしものために、災害備蓄食を食べてみよう～

防災月間の9月。中学部2年生では、生徒たちの災害に対する意識を高め、もしもの時に落ち着いて行動することができるようにと、地震、津波を想定した避難訓練を行いました。緊急地震速報を聞いた生徒たちは、驚きながらも神妙な顔で、避難指示を聴き、学校近くの水林球場まで、迅速な避難行動をとることができました。学校に戻ってきてからは、各家庭で用意していただいた災害備蓄食を給食の代わりに食べました。給食に比べ、内容も量も乏しいので、生徒たちにとっては、物足りない様子でした。でも、持っている物が本当に食べられるか、量や水分は十分かなど、災害時の備えを確認できました。災害時はその場にあるものしか食べられないので、生徒たちにとっては貴重な体験となりました。

## 【感想より】

- 水分は大きなペットボトルより、小分けのペットボトルがいいかも。
- スプーンや箸があるとよい。
- 缶詰を開けるときには爪を短く切りすぎていると開けにくい。

